

あとがき

痛みを主訴とする患者は全診療科を合わせてみても最も多い。筆者も一昨日から歯痛があり、歯科を受診すると、歯槽膿漏の始まりと診断されがっかりした。しかしこの痛みがなければ、さらに手遅れになっていたという。

痛みは生体にとって危険信号を発する重要な感覚である。しかし、片頭痛など慢性疼痛に代表されるような難治性で、しかも QOL (クオリティーオブライフ) を著しく低下させる病態も多い。しかし、これらの患者さんの訴えは、しばしば「心因性」の要素を帯びていることもあり、筆者も含めて、臨床の間では敬遠しがちであるように思える。痛みの治療といえば、すぐに消炎鎮痛剤を思い浮かべるが、実際痛みの治療は、それだけでは完結しない場合が多くみられる。

本号ではその痛みの分子メカニズムを含めた成因と、それに基づく治療の最前線を、第一線の研究者・臨床家にまとめていただいた。歯痛を抱えながら読了して思うことは、この分野が患者のニーズにまだまだ医療が答えきれていない分野であることと、解明された病態がそのまま治療法の開発に結びつきつつある、最も hot な分野であるという点である。

本号では、さらに総説として NMO とアクアポリン 4 抗体に関する up-to-date な記事をいただいている。痛みを忘れてご熟読いただきたい。

(梶 龍児)

編集顧問

生 田 房 弘
臺 弘
大 友 英 一
金 澤 一 郎
近藤 喜代太郎
酒 田 英 夫
佐 野 圭 司
島 津 浩
杉 田 秀 夫
高 倉 公 朋
塚 田 裕 三
中 里 洋 一
彦 坂 興 秀
平 山 恵 造
藤 澤 浩四郎
真 柳 佳 昭
萬 年 甫
水 野 美 邦
柳 澤 信 夫

編集委員

石 塚 典 生
糸 山 泰 人
岩 田 誠
内 山 真一郎
梶 龍 児
川 島 隆 太
河 村 満
高 坂 新 一
作 田 学
辻 省 次
寺 本 明
中 込 忠 好
中 野 今 治
水 澤 英 洋
(五十音順)

BRAIN and NERVE

(第 60 巻 第 5 号)

2008 年 5 月 1 日 (毎月 1 回 1 日発行)

定価 2,730 円 (本体 2,600 + 税 5 % (配送料実費))

(2008 年、年ぎめ予約購読料 34,860 円 (配送料弊社負担))

E-mail: bn@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/bn>

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5701

(高瀬・山内・山崎)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 (株)アイワード (011) 241-9341

広告申込所 (株)丹水社 (03) 3561-1323

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2008, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は(株)医学書院が保有します。
- JCLS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム (電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199) の許諾を得てください。